

中級者養成講習①【鹿沼岩山】

- 1.日程：4月25日(土) 日帰り
- 2.場所：鹿沼岩山
- 3.講師：平川陽一郎（助手：山口順次）
- 4.集合・解散：東武鉄道「新鹿沼駅」9時集合、東武鉄道「新鹿沼駅」15時頃解散
- 5.参加者：田中利昌、宮田しのぶ、宮内有加、町田千絵、小玉和孝、稲越洋一、問仁田隆一、水野康男、吉田由美、根本忠一
- 6.講習概要

4月25日(土) 栃木県鹿沼市にある標高約328mの鹿沼岩山にて、講師にJAC本部・平川陽一郎氏、助手に山口順次氏を迎え、安全登山委員会・山行委員会共同開催の講習会が行われました。

前日の雨の影響で雲は多少あるものの、日差しにも恵まれ爽やかな朝9時、新鹿沼駅西口に12名が集合しました。電車と車で参加したメンバーが車に乗り合わせ、駅から数分の富士山公園駐車場へ移動。そこで各自登山準備を整え、平川講師による山行リーダーとしてのレクチャーが始まりました。まず、全員の点呼を取り、山行の趣旨を説明。その後、各自の持ち物確認を行いました。中でもヘッドランプの電池残量確認は重要とのことでした。過去に夜間歩行中、1名が電池切れを起こし、その対応のため全体のペースが大きく遅れた経験から、リーダー自身も貸出せる予備を準備しておく必要があるとお話されました。



続いて駐車場を出発し、徒歩20分ほどで登山口にある日吉神社に到着。ここで各自ハーネス・ヘルメット・手袋を装着しました。しかし、装着に慣れていないとウエストベルトやレッグループのねじれは自分では気づきにくく、それが事故につながる恐れもあるため、リーダーが全員のハーネスを確認することの重要性を学びました。



いよいよ岩山ハイキングコースへ入り、ほどなく今回の目的地である岩場に到着しました。そこは登山ルートから外れた静かな場所で、12人が留まるにはそれほど広くはありませんでしたが、全員がザックを下ろして準備に入りました。



まず、周囲にある数本の立木を利用して基本となるロープワークを学習。ポーライン、エイトノット、フォロースルー、バタフライノットなど、初めて見る結び方に悪戦苦闘しながらも、協力してフィックスロープを張りました。それぞれが空いた時間に簡単な昼食を取っていると、岩山の上からスルスルとザイルが垂れ下がり、見上げると平川さんと山口さんが颯爽と降りてきました。その後、2人一組となり、1人が岩場を登り、もう1人がビレイリバースを担当しました。初めての岩登りに苦戦する者、軽々と限界まで登る者など個人差はありましたが、何度も交代しながら岩場の経験を重ね、全員にとって充実した講習となりました。

最後はC峰の岩の上にポツンと一つ置かれたベンチに全員が揃い、記念撮影をして下山しました。この山は「ハイキングコース」とされていますが、それは最初の数百メートルほどで、その先は起伏に富んだ地形とむき出しの岩場が続く、個性豊かで楽しい山でした。

今回ご指導いただいた平川さん、山口さん、誠にありがとうございました。今後の山行に役立ててまいります。（記：17606 間仁田隆一）

